

チームの地元で開催される世界大会  
出場が楽しみです

KUMAMOTO  
SAISHUNKAN  
BADMINTON TEAM

山口 茜選手  
AKANE YAMAGUCHI

令和5年から熊本で開催されるバドミントンの世界大会「熊本マスターズジャパン」。町内企業の再春館製薬所所属の選手もこの大会に出場予定です。活躍が期待される選手に意気込みなどを聞いてきました。

## ●バドミントンを始めたきっかけ

兄2人がバドミントンを始めたときに両親も指導者として一緒に始めたので、私も3歳ぐらいからラケットを握って遊んでいました。その流れで自然と5歳から練習を始めました。

## ●バドミントンの魅力

体格差があっても、勝負できる場所です。

## ●世界大会が熊本で開催されることについての思い

チームの地元でハイレベルな試合を見てもらえること、そして自分がその大会に出場できることが楽しみです。

熊本の皆さんや、バドミントンをしている子どもたちにも楽しんでもらいたいと思います。



## ●大会への意気込み

まずは自分自身が楽しみたいと思います。その中で、楽しんでもらえるようなプレーやマネしたくなるようなプレーができるように頑張ります。

## ●読者へのメッセージ

いつも応援ありがとうございます。町に拠点を置くチームとして応援していただいているので、結果やプレーで面白い話題や元気をお届けできるように努力します。

## 共に、創る

にじいろは「共存」、「共創」、「共感」の場を目指しています。今回は「共創」の取り組みをお伝えします。

3月25日に「防災×アウトドアスキルアップイベント」をにじいろで実施しました。

これは地域の人から「防災にも生かせるアウトドアスキルを学べる取り組みができないか」との熱い要望を受けて実現したものです。

(株)シェルパによる「災害とアウトドアについて」のお話やテント設営体験、町職員からの防災倉庫の解説、携帯トイレの使い方講座など2時間のプログラムでした。

今回のポイントは、地域の人々のアイデアを形にしたこと、協力隊の持つスキルを活かしたことで、そして住民・行政・民間の連携ができたこと。参加者からよかった！と言っていた、一緒に取り組めたことを嬉しく思います。

MASHIKI TOWN  
CHIIKI-  
OKOSHI

「町に虹色の  
輝きを」

Vol.12



地域おこし協力隊  
中村 康佑さん

## スープの時間、はじめました

みなさんは、日常の中にホッと一息できる時間はありますか。一生懸命に何かに取り組むことはとてもすてきなことですが、たまにはホッとしないと、息が切れてしまいます。

私は最近、必要なことや重要なことよりも、無駄なことや意味の無いことに興味が湧いてきています。「楽しいな」と思うことに思う存分時間を使ってみたいと思っています。

そんな流れで、1月から「スープの時間」という活動を始めました。出張シェフとしてお招きいただいた場所でスープを作ったり、スープづくり体験をみんなと一緒に楽しんだりしています。

益城に、もっと愉快的な余白がたくさん生まれたらいいなと思います。よければ、みなさんも一緒に。

Instagramで情報発信しています。  
ぜひ見てくださいね。



SOUP.NO.JIKAN

MASHIKI TOWN  
CHIIKI-  
OKOSHI

「まち全体が  
学びの場」

Vol.46



地域おこし協力隊  
井下友梨花さん